



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東・札
 コード番号 2270 URL <http://www.megmilk-snowbrand.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野瀬 忠明
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 小西 寛昭 (TEL) 03-3226-2124
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|---|-------|---|-------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第1四半期 | 127,352 | — | 4,146 | — | 4,669 | — | 2,773 | — |
| 22年3月期第1四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|----|----------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 40 | 47 | — | — |
| 22年3月期第1四半期 | — | — | — | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|---------|--------|--------|--------|--------|-------|----------|--|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 | 銭 | |
| 23年3月期第1四半期 | 293,784 | 91,279 | 91,279 | 91,279 | 30.5 | 1,320 | 66 | |
| 22年3月期 | 292,164 | 92,765 | 92,765 | 92,765 | 31.2 | 1,316 | 07 | |

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 89,623百万円 22年3月期 91,100百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | |
|------------|--------|--------|--------|----|----|----|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 22年3月期 | — | — | — | 25 | 25 | 00 |
| 23年3月期 | — | — | — | — | — | — |
| 23年3月期(予想) | — | — | — | 25 | 25 | 00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無： 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|-----------|---------|------|--------|------|--------|------|--------|-----|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 第2四半期（累計） | 260,000 | — | 8,000 | — | 8,500 | — | 5,500 | — | 81 | 05 |
| 通期 | 510,000 | 29.6 | 15,500 | 21.9 | 16,500 | 10.7 | 10,000 | 8.0 | 147 | 36 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無： 無

4. その他（詳細は、添付資料4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動： 無

新規 ー 社 (ー)、除外 ー 社 (ー)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更： 有

② ①以外の変更： 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 23年3月期1Q | 70,751,855株 | 22年3月期 | 70,751,855株 |
| 23年3月期1Q | 2,889,174株 | 22年3月期 | 1,530,085株 |
| 23年3月期1Q | 68,542,165株 | 22年3月期1Q | ー株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は平成21年10月1日に日本ミルクコミュニティ株式会社と雪印乳業株式会社が経営統合し、両社を完全子会社とする共同持株会社として設立されたため、前第1四半期連結実績はありません。

2. 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、当社は上記1の通り、平成21年10月1日に設立されたため、第2四半期連結累計期間の対前年比は表示していません。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 4 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 4 |
| (2) 簡便な会計処理 | 4 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| 4. (参考) 前年対比数値参考資料 | 10 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、景気に回復の兆しがみられるものの、厳しい雇用・所得環境が続いており、また、物価の動向は緩やかなデフレ状況にあるなど依然として楽観できる状況にはありません。

食品業界において、個人消費は低調に推移し、消費者の低価格志向や市場競争の激化など、厳しい事業環境が続いており、また、酪農乳業界においては、宮崎県で発生した口蹄疫の影響が一部に出ていることに加え、牛乳の生産および消費は低迷しております。

このような経営環境の中、当社は日本ミルクコミュニティ㈱と雪印乳業㈱の共同持株会社として2期目を向かえ、「雪印メグミルクグループ中期経営計画（平成21年度～平成25年度）」の基本コンセプトである「シナジーの創出」と「イノベーションへの挑戦」の実現に、積極的に取り組んでまいりました。具体的には当社グループの研究基盤を強化するため、当社に「ミルクサイエンス研究所」を新設し、雪印乳業㈱の技術研究所の機能を移管しました。また、海外事業展開の取り組みを加速させるため、当社に「海外事業部」を新設するなど体制強化を行いました。日本ミルクコミュニティ㈱および雪印乳業㈱を中核事業会社とするグループ企業の事業運営を一体化し、同計画に掲げた、「乳飲料」「デザート」「ヨーグルト」「ナチュラルチーズ」の4つのカテゴリーにおける「カテゴリーNo.1戦略」を強力に推進するため、脂肪0タイプをラインナップしたプレーンヨーグルト「ナチュレ恵」、主力チーズブランドである「雪印北海道100」シリーズ等の拡販および戦略的設備投資の着手などに注力してまいりました。

また、原料乳製品のプロダクトミックス改善や、調達・生産・物流のコスト改善等、当社グループとしての統合効果発揮への取り組みに努めました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は127,352百万円、営業利益は4,146百万円、経常利益は4,669百万円、四半期純利益は2,773百万円となりました。

セグメントごとの当第1四半期連結会計期間の業績は次のとおりです。

①乳製品事業

当事業には、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等）等の製造・販売が含まれております。

乳製品部門では、「さけるチーズ」や「スライスチーズ」の販売が好調に推移しました。また、油脂部門は主力の「ネオソフト」の販売が堅調でありました。

この結果、当事業における売上高は48,708百万円となりました。

②飲料・デザート類事業

当事業には、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート等の製造・販売が含まれております。

ヨーグルト部門では、主力の「ナチュレ恵」が牽引し、販売が堅調に推移しました。また、飲料部門では、市場全体で牛乳消費が落ち込んだものの、加工乳の販売が好調に推移し、果汁飲料では、「Dole®100%ジュース」のラインナップ強化が大きく貢献しました。

この結果、当事業における売上高は63,955百万円となりました。

なお、前連結会計年度において「乳飲料」という名称を使用していましたセグメントにつきましては、当連結会計年度より、セグメントの内容をより具体的に表すために「飲料・デザート類」に名称を変更しております。

③飼料・種苗事業

当事業には、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子等の製造・販売が含まれております。

売上高は、配合飼料販売価格の低下及び天候不順による種子販売の低調等により、12,042百万円となりました。

④その他事業

当事業には、不動産賃貸、共同配送センター事業等が含まれております。売上高は、9,660百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して1,620百万円の増加となりました。これは主に、たな卸資産が減少した一方で、受取手形及び売掛金が増加したことなどによります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して3,106百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことなどによります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1,486百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が増加した一方で、自己株式を取得したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、7,697百万円となりました。当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,778百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が4,088百万円となったこと、売上増等に伴う売上債権の増加によるキャッシュ・フローの減少が3,932百万円となったこと、たな卸資産の減少によるキャッシュ・フローの増加が1,210百万円となったこと、仕入債務の増加によるキャッシュ・フローの増加が2,630百万円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,663百万円の支出となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得により2,694百万円を支出したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,904百万円の支出となりました。これは主に、自己株式の取得により2,128百万円を支出したこと、配当金の支払いにより1,731百万円を支出したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月12日の決算短信で公表した業績予想値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の連結子会社の貸倒実績率等は前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、連結子会社の前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の連結子会社の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、連結子会社の前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は4百万円、税金等調整前四半期純利益は424百万円減少しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は545百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,570 | 9,130 |
| 受取手形及び売掛金 | 61,662 | 57,729 |
| 有価証券 | 249 | 349 |
| 商品及び製品 | 27,643 | 27,613 |
| 仕掛品 | 1,165 | 752 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,655 | 9,309 |
| 繰延税金資産 | 6,903 | 6,883 |
| その他 | 8,902 | 7,797 |
| 貸倒引当金 | △538 | △546 |
| 流動資産合計 | 122,215 | 119,019 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 29,575 | 29,409 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 34,237 | 34,592 |
| 土地 | 65,200 | 65,193 |
| その他（純額） | 4,944 | 4,401 |
| 有形固定資産合計 | 133,957 | 133,597 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 5,897 | 6,244 |
| その他 | 4,805 | 5,073 |
| 無形固定資産合計 | 10,703 | 11,317 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 15,986 | 16,390 |
| 繰延税金資産 | 6,177 | 6,864 |
| その他 | 6,104 | 6,379 |
| 貸倒引当金 | △1,359 | △1,405 |
| 投資その他の資産合計 | 26,908 | 28,229 |
| 固定資産合計 | 171,569 | 173,144 |
| 資産合計 | 293,784 | 292,164 |

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 54,245 | 51,836 |
| 短期借入金 | 44,238 | 41,623 |
| 未払法人税等 | 683 | 1,052 |
| 賞与引当金 | 2,186 | 3,713 |
| 資産除去債務 | 256 | — |
| その他 | 24,296 | 22,338 |
| 流動負債合計 | 125,906 | 120,565 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 41,896 | 44,154 |
| 繰延税金負債 | 2,845 | 2,877 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 10,171 | 10,171 |
| 退職給付引当金 | 10,084 | 9,874 |
| 役員退職慰労引当金 | 279 | 277 |
| ギフト券引換引当金 | 254 | 257 |
| 資産除去債務 | 290 | — |
| 負ののれん | 2,581 | 2,833 |
| その他 | 8,196 | 8,386 |
| 固定負債合計 | 76,598 | 78,833 |
| 負債合計 | 202,505 | 199,398 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 20,000 | 20,000 |
| 資本剰余金 | 17,580 | 17,580 |
| 利益剰余金 | 41,170 | 40,127 |
| 自己株式 | △4,513 | △2,385 |
| 株主資本合計 | 74,238 | 75,323 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 102 | 444 |
| 繰延ヘッジ損益 | 50 | 153 |
| 土地再評価差額金 | 15,103 | 15,103 |
| 為替換算調整勘定 | 128 | 76 |
| 評価・換算差額等合計 | 15,384 | 15,777 |
| 少数株主持分 | 1,655 | 1,664 |
| 純資産合計 | 91,279 | 92,765 |
| 負債純資産合計 | 293,784 | 292,164 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) |
|---------------------|---|
| 売上高 | 127,352 |
| 売上原価 | 92,814 |
| 売上総利益 | 34,537 |
| 販売費及び一般管理費 | 30,390 |
| 営業利益 | 4,146 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 10 |
| 受取配当金 | 273 |
| 負ののれん償却額 | 252 |
| 持分法による投資利益 | 90 |
| その他 | 366 |
| 営業外収益合計 | 993 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 351 |
| その他 | 120 |
| 営業外費用合計 | 471 |
| 経常利益 | 4,669 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 1 |
| 貸倒引当金戻入額 | 21 |
| 受取補償金 | 13 |
| その他 | 11 |
| 特別利益合計 | 47 |
| 特別損失 | |
| 固定資産売却損 | 0 |
| 固定資産除却損 | 169 |
| 減損損失 | 7 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 419 |
| その他 | 31 |
| 特別損失合計 | 628 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,088 |
| 法人税等 | 1,318 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,770 |
| 少数株主損失(△) | △3 |
| 四半期純利益 | 2,773 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
 (自 平成22年4月1日
 至 平成22年6月30日)

| | |
|----------------------|--------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,088 |
| 減価償却費 | 2,916 |
| 減損損失 | 7 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 419 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △90 |
| のれん償却額 | 346 |
| 負ののれん償却額 | △252 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △54 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △1,526 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 209 |
| ギフト券引換引当金の増減額 (△は減少) | △3 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 2 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 168 |
| 受取利息及び受取配当金 | △284 |
| 支払利息 | 351 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △3,932 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 1,210 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 2,630 |
| その他 | 437 |
| 小計 | 6,642 |
| 利息及び配当金の受取額 | 412 |
| 利息の支払額 | △347 |
| 法人税等の支払額 | △929 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,778 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △185 |
| 有価証券の償還による収入 | 100 |
| 貸付けによる支出 | △6 |
| 貸付金の回収による収入 | 126 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △2,694 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 2 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △7 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 1 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,663 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 2,730 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,373 |
| 自己株式の取得による支出 | △2,128 |
| 配当金の支払額 | △1,731 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △2 |
| その他 | △398 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,904 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 29 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △760 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,458 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,697 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主たる事業として、乳（ミルク）等を使用した製品の製造・販売及び牛用飼料、牧草・飼料作物種子等の製造・販売を行っており、チーズ・バター等の「乳製品」については主に雪印乳業㈱が、牛乳・ヨーグルト等の「飲料・デザート類」については主に日本ミルクコミュニティ㈱が、「飼料・種苗」については主に雪印種苗㈱が行っております。

したがって、当社グループは、製品別のセグメントから構成されており、「乳製品」、「飲料・デザート類」及び「飼料・種苗」の3つを報告セグメントとしております。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 2 | 合計 | 調整額 (注) 3 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4 |
|-----------------------|---------|-----------------------|--------|---------|--------------|---------|--------------|--------------------------------|
| | 乳製品 | 飲料・ デザート類 (注) 1 | 飼料・種苗 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 44,638 | 63,898 | 11,829 | 120,366 | 6,985 | 127,352 | — | 127,352 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 4,069 | 57 | 213 | 4,339 | 2,674 | 7,014 | (7,014) | — |
| 計 | 48,708 | 63,955 | 12,042 | 124,706 | 9,660 | 134,367 | (7,014) | 127,352 |
| セグメント利益 | 2,963 | 59 | 829 | 3,852 | 210 | 4,062 | 84 | 4,146 |

(注) 1. 前連結会計年度において「乳飲料」という名称を使用していましたセグメントにつきましては、当連結会計年度より、セグメントの内容をより具体的に表すために「飲料・デザート類」に名称を変更しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び共同配送センター事業等が含まれております。

3. セグメント利益の調整額 84百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年5月25日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、平成22年5月31日付で自己株式の取得を行いました。この取得などにより、当第1四半期連結会計期間において自己株式が2,128百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が△4,513百万円となっております。

4. (参考) 前年対比数値参考資料

(1) 開示ベース：前年度 雪印乳業(株)連結との比較

| | 平成22年3月期 第1四半期 | 平成23年3月期 第1四半期 |
|---------------------|-------------------|-------------------|
| 雪印乳業(株) (連結) | ○ | ○ |
| 日本ミルクコミュニティ(株) (連結) | × | ○ |

(注) 1. 前年度 (22年3月期第1四半期) は雪印乳業(株)連結の数値を表示しておりますのでご留意下さい。
 なお、前年度との比較を容易にするために、前年度期首に経営統合を実施していたと仮定した場合の数値を、後掲(2)に掲載しております。

2. 連結子会社である雪印種苗(株)、(有)ロイヤルファームおよび道東飼料(株)は前期に決算期を変更しております。そのため連結財務諸表に取込んだ期間が前年度と今年度では以下のとおり相違しております。
 (前年度) 決算期：6月 連結対象期間：平成21年1月～平成21年3月
 (今年度) 決算期：3月 連結対象期間：平成22年4月～平成22年6月
 後掲(2)に記載している前年度の数値は、上記の会計期間の相違も修正して表示しております。

①当期の連結経営成績

(単位：億円)

| | 平成22年3月期 第1四半期 | | 平成23年3月期 第1四半期 | | 増減金額 | |
|--------|-------------------|----------|-------------------|----------|------|----------|
| | 実績 | 売上比 | 実績 | 売上比 | 実績 | 前期比 |
| 売上高 | 676 | (100.0%) | 1,273 | (100.0%) | 596 | (188.2%) |
| 営業利益 | 30 | (4.5%) | 41 | (3.3%) | 11 | (136.9%) |
| 経常利益 | 36 | (5.5%) | 46 | (3.7%) | 9 | (126.5%) |
| 四半期純利益 | 29 | (4.4%) | 27 | (2.2%) | △1 | (93.6%) |

②当期のセグメント別実績

(単位：億円)

| | | 平成22年 3月期 第1Q | 平成23年 3月期 第1Q | セグメント別の主な取扱商品類 |
|------|----------|---------------------|---------------------|---|
| 売上高 | 食 品 | 523 | / | 食 品：乳製品 (チーズ、バター、粉乳等) 油脂 (マーガリン等)、育児品 (乳幼児用粉乳等) 市乳 他 |
| | 飼料・種苗 | 105 | / | |
| | その他 | 64 | / | |
| 営業利益 | 食 品 | 28 | / | 飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他 その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他 |
| | 飼料・種苗 | △0 | / | |
| | その他 | 1 | / | |
| 売上高 | 乳製品 | / | 487 | 乳製品：乳製品 (チーズ、バター、粉乳等) 油脂 (マーガリン等)、育児品 (乳幼児用粉乳等) 他 飲料・デザート類：飲料 (牛乳類、果汁飲料等)、ヨーグルト デザート 他 |
| | 飲料・デザート類 | / | 639 | |
| | 飼料・種苗 | / | 120 | |
| | その他 | / | 96 | |
| 営業利益 | 乳製品 | / | 29 | 飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他 その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他 |
| | 飲料・デザート類 | / | 0 | |
| | 飼料・種苗 | / | 8 | |
| | その他 | / | 2 | |

(2) 【参考】通期連結ベース：前年同期比較を容易にするために、前年度期首に経営統合を実施したと仮定した場合の参考数値

| | 平成22年3月期 第1四半期 | 平成23年3月期 第1四半期 |
|---------------------|-------------------|-------------------|
| 雪印乳業(株) (連結) | ○ | ○ |
| 日本ミルクコミュニティ(株) (連結) | ○ | ○ |

①連結経営成績(平成22年3月期実績はレビュー対象外) (単位：億円)

| | 平成22年3月期 第1四半期 | | 平成23年3月期 第1四半期 | | 増減金額 | |
|------------|-------------------|----------|-------------------|----------|------|----------|
| | 実績 | 売上比 | 実績 | 売上比 | 実績 | 前期比 |
| 売上高 | 1,252 | (100.0%) | 1,273 | (100.0%) | 21 | (101.7%) |
| 売上原価 | 909 | (72.7%) | 928 | (72.9%) | 18 | (102.0%) |
| 販売費及び一般管理費 | 305 | (24.4%) | 303 | (23.9%) | △1 | (99.6%) |
| 営業利益 | 37 | (3.0%) | 41 | (3.3%) | 4 | (111.5%) |
| 営業外収益 | 10 | (0.9%) | 9 | (0.8%) | △0 | (92.2%) |
| 営業外費用 | 4 | (0.4%) | 4 | (0.4%) | △0 | (98.4%) |
| 経常利益 | 43 | (3.4%) | 46 | (3.7%) | 3 | (108.1%) |
| 特別利益 | 0 | (0.1%) | 0 | (0.0%) | △0 | (57.7%) |
| 特別損失 | 1 | (0.2%) | 6 | (0.5%) | 4 | (329.6%) |
| 法人税等 | 8 | (0.6%) | 13 | (1.0%) | 5 | (163.8%) |
| 少数株主損益 | △0 | (△0.1%) | 0 | (△0.0%) | 0 | (—) |
| 四半期純利益 | 33 | (2.7%) | 27 | (2.2%) | △6 | (81.9%) |

- (注) 1. 前年比較を容易にするため、前期に決算期を変更した連結子会社の業績も修正しております。
2. 平成22年3月期実績はレビュー対象外の数値であり下線を付しております。

②セグメント別実績(平成22年3月期実績はレビュー対象外) (単位：億円)

| | 平成22年3月期 第1四半期 | | 平成23年3月期 第1四半期 | | 増減金額 | |
|----------|-------------------|--|-------------------|--|------|--------|
| | 実績 | | 実績 | | 実績 | 前期比 |
| [売上高] | | | | | | |
| 乳製品 | 457 | | 487 | | 29 | 106.5% |
| 飲料・デザート類 | 623 | | 639 | | 16 | 102.6% |
| 飼料・種苗 | 123 | | 120 | | △2 | 97.9% |
| その他 | 101 | | 96 | | △5 | 94.9% |
| [営業利益] | | | | | | |
| 乳製品 | 26 | | 29 | | 2 | 109.8% |
| 飲料・デザート類 | △0 | | 0 | | 1 | —% |
| 飼料・種苗 | 6 | | 8 | | 1 | 125.0% |
| その他 | 3 | | 2 | | △1 | 55.6% |

- (注) 1. セグメント別の主な取扱商品類
乳製品：乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂（マーガリン等）、育児品（乳幼児用粉乳等） 他
飲料・デザート類：飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザート 他
飼料・種苗：牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子 他
その他：不動産賃貸、共同配送センター事業 他
2. 前年比較を容易にするため、前期に決算期を変更した連結子会社の業績も修正しております。
3. 平成22年3月期実績はレビュー対象外の数値であり下線を付しております。

(3) 業績予想

ア. 連結業績予想

(単位：億円)

| | 平成23年3月期 | | | |
|-------|-------------|--------|-------|--------|
| | 第2四半期連結累計期間 | | 通期 | |
| | 予 想 | 前期比 | 予 想 | 前期比 |
| 売上高 | 2,600 | 102.7% | 5,100 | 103.0% |
| 営業利益 | 80 | 108.8% | 155 | 108.8% |
| 経常利益 | 85 | 102.1% | 165 | 103.0% |
| 当期純利益 | 55 | 100.0% | 100 | 105.5% |

(注) 1. 平成22年5月12日決算短信発表時に公表したのから変更はありません。

2. 前期比は平成22年5月12日発表決算短信における参考資料として記載しました、平成21年4月に経営統合を実施したと仮定した場合の平成22年3月期実績に基づいて算出しております。

イ. セグメント別売上予想

(単位：億円)

| | 平成23年3月期 | | | |
|----------|-------------|--------|-------|--------|
| | 第2四半期連結累計期間 | | 通期 | |
| | 予 想 | 前期比 | 予 想 | 前期比 |
| 乳製品 | 938 | 102.0% | 1,932 | 103.4% |
| 飲料・デザート類 | 1,361 | 105.7% | 2,598 | 105.0% |
| 飼料・種苗 | 236 | 103.5% | 443 | 100.2% |
| その他 | 203 | 97.9% | 398 | 98.6% |

(注) 1. セグメント間の内部売上高を含んでおります。

2. 平成22年5月12日決算短信発表時に公表したのから変更はありません。

3. 前期比は平成22年5月12日発表決算短信における参考資料として記載しました、平成21年4月に経営統合を実施したと仮定した場合の平成22年3月期実績に基づいて算出しております。

(4) 【参考：レビュー対象外】 事業子会社単体部門別売上高

①雪印乳業(株)単体部門別売上高

(単位：億円・%)

| | 平成22年3月期 第1四半期 | | 平成23年3月期 第1四半期 | | 増減金額 |
|---------|-------------------|------|-------------------|-------|------|
| | 実 績 | 前期比 | 実 績 | 前期比 | |
| 乳食品 | 284 | 90.1 | 309 | 108.9 | 25 |
| (内 バター) | 51 | 82.2 | 57 | 112.7 | 6 |
| (内 チーズ) | 141 | 95.2 | 150 | 107.0 | 9 |
| 油脂 | 39 | 93.7 | 39 | 99.2 | △0 |
| その他 | 14 | 82.9 | 12 | 85.3 | △2 |
| 合計 | 338 | 90.2 | 361 | 106.8 | 23 |

(参考)平成23年3月期第1四半期シェア(家庭用) バター 37.8%

マーガリン 33.4%

チーズ 19.2%

(当社調べ：全国物量ベース)

②日本ミルクコミュニティ(株)単体部門別売上高

(単位：億円・%)

| | 平成22年3月期 第1四半期 | | 平成23年3月期 第1四半期 | | 増減金額 |
|------|-------------------|-------|-------------------|-------|------|
| | 実 績 | 前期比 | 実 績 | 前期比 | |
| 白物飲料 | 206 | 95.4 | 216 | 104.8 | 9 |
| 色物飲料 | 148 | 95.6 | 145 | 98.3 | △2 |
| はっ酵乳 | 80 | 99.0 | 86 | 106.3 | 5 |
| その他 | 118 | 103.8 | 120 | 101.8 | 2 |
| 合計 | 554 | 97.6 | 568 | 102.7 | 14 |

(参考)平成23年3月期第1四半期シェア(家庭用) 牛乳 8.1%

乳飲料 27.5%

はっ酵乳 10.4%

(当社調べ：全国金額ベース)